

情 報 公 開 文 書

研究の名称	脳血管再建術の観察研究
整理番号	R 2 0 1 9 1 3 9
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系 脳神経外科学 助教 堀 恵美子
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学脳神経外科にて、2012年4月1日以降にMRIや造影CTA、血管撮影で頭蓋内外主幹動脈の閉塞あるいは高度狭窄と診断された患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 脳血管再建術には、浅側頭動脈 中大脳動脈吻合術(STA-MCA 吻合術)や頸動脈内膜剥離術(CEA)、ステント留置術(CAS)、血栓回収術などが挙げられます。これらの術式は、頭蓋内外主幹動脈の狭窄、閉塞性病変や、もやもや病の血管再建術、動脈瘤などの治療に用いられる脳神経外科基本手技の1つです。しかし、慢性虚血性病変でのSTA-MCA 吻合術の有効性は、本邦での研究結果は肯定、国外の研究では否定され、有効性が示されていると断定できない状況にあります。また、有効性が示されているその他の治療も、日々進歩するデバイスが使用されたり、内科治療の進歩により、必ずしも現在の治療に反映されていると言い難い状況です。本研究では、実際の手術症例についてその診療経験を蓄積、分析し、治療成績を向上させることを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 本研究では対象患者さんの患者情報(診療録、血液データ、MRI、造影CTA、血管撮影)を用いて研究を行います。患者情報および画像データは情報の統計解析やその後の変化を見るために用います。</p> <p>【研究期間】 2019年11月28日から2035年12月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究の結果は、国内、国外の脳卒中関連の学会で発表します。 また脳卒中関連の雑誌に発表を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法(他機関への提供の有無)	通常の臨床で得られる患者情報(診療録、血液データ、MRI、造影CTA、血管撮影)を用います。本研究は済生会富山病院との共同研究ですが、得られた情報の提供は行いません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究代表機関 富山大学 脳神経外科 研究責任者 堀 恵美子 共同研究機関 済生会富山病院 施設責任者 久保 道也
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部医学系 脳神経外科学 助教 堀 恵美子

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7348 FAX 076-434-5034 E-mail emihori@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 脳神経外科 助教 堀 恵美子
--------------------------	---